

## 【電線類が地中化されたランドスケープデザインの街並み紹介】

### No. 4 多摩ニュータウン唐木田 街びらき地区

■事業展開:平成10年頃、多摩ニュータウン唐木田地区

開発の街びらき地区として特別に企画されたプロジェクト

■街並計画:建築家の起用と十数社の参加企業による共同分譲事業

■我が街の顔「コミュニティ道路」:車道と歩道のバリアフリー、歩道と宅地のアプローチやカースペースとの融合など、これまでわが国に無かった新しい道空間が計画された。このような景観形成に優れた手法は後に、なぜ全国的にも多く普及しなかったのだろうか。

■遠景を取り込んだランドスケープデザイン:道路幅員は均一の幅員でありながら、車道部は直線化を避けピンコロで曲線を描きながらデザインされ、植栽帯と合わせて公園のように計画されている。遠景に里山を取り込み、電柱のないストリート景観は高級感溢れ美しい街並み景観をなす。

■街並み:宅地廻りの土留め、歩道、車道部のピンコロなど素材感を活かした自然石が多用された。



文責:高山 登

里山を取り込んだストリート景観 平成14年1月撮影

- ◆公園のようなストリート景観
- ・歳月を経るごとにその魅力が増し、資産価値としても極めて高い評価を得ていると思われる。
- ・道路は宅地と歩道が融合して、左右に庭先の延長のようにデザインされている。
- ・道路計画の考え次第で、宅地と道路が融合した公園のようなコミュニティ空間が創出できる。



修景と安全に配慮、直線道路を避けた道路交差点 平成14年1月撮影



- ◆アイストップのあるストリート景観
- ・長い直線道路を計画的に交差点をずらして豊かなストリート景観を形成したもの
- ・電線のない街並みに表情豊かな建物が生垣や街路樹を伴って遠景の里山へと連続し、多摩丘陵にふさわしいランドスケープデザイン形成
- ・直線道路の前方には、アイストップとして生垣越しにトンガリ屋根の建物が建つ

日本の電柱・電線社会の現状について感じていることをエッセイとして綴り、お送り下さい。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます 1000~1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレート(顔写真)を添えて下さい。投稿をお待ちしています! 事務局 井上、山岡 [info@nponpc.net](mailto:info@nponpc.net)

私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ!

# 美空~MISORA~



## 第56号

発行日:2013年4月25日(金)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

### 《活動報告》2013年3月27日理事会(COM計画研究所)

#### ◆技術開発委員会:井上(了)理事

TコンサルタントのNさんに無電柱化のことについてレクチャーしてほしいと依頼を受けた。しかし、この地域は歴史的な建物が多く道幅が狭いためDDBOXを提案した。沖縄県の法人会員である七和さんから地中化のDDBOXの使い方等について問い合わせがあった。海外の無電柱化事情を調査予定。情報が入り次第報告する。このような海外案件をもっと増やしたい。トアロードの山側に関しても無電柱化を進めていく予定。共同溝を埋める場合は路側帯に入れば歩道にも車道にも迷惑が掛からない。また、工事内容の説明についてわかりやすく伝えることも重要。

#### ◆世論形成委員会:長谷川副理事長

次のセミナーに向けて、K社に再度依頼して進めていく予定だったが、同社で談合が発覚したため辞退された。現段階でセミナー講師の有力候補は自民党の小池百合子氏か府の総合計画課の方か。小池先生は別枠でお招きしたい。

#### ◆事業協力委員会:井上事務局長

2月に開催された福知山の勉強会のその後の経過として、電線類地中化検討委員会が発足し、4月中旬に初めて委員会が開かれる。白馬村の地中化はまだ進んでいないが、長野県知事は了承している。先日、日経新聞もDDBOX等について取材に来た。今度、日経BP社が電線類地中化について取材にくる予定。

#### ◆東京活動委員会:井上事務局長

3月26日に会員の岩崎電気の木川さんが照明器具やLEDについて情報提供してくださった。次回は4月26日の金曜日。

#### ◆6月の総会の件:井上事務局長

6月21日17時から17時半まで総会、18時からセミナー、懇親会は21時半くらいまで。場所は未定。一般の方をもっと多く入れるなら入会金4000円をなくすべきでは?(東京の理事)懇親会の場所を考える→同じ建物内であれば、セミナー終了後もスムーズに懇親会に移行できる。=参加者も増える。

#### ◆その他;セミナーアンケート結果の件

アンケート結果から、タイトルと内容の整合性の不一致が気になった。講師とNPOが定期的に連絡を取り合い連携すれば改善できるのでは?次回以降への課題。

#### ◆04月度の理事会の日程

次回理事会は4月30日 18時から  
COM計画研究所にて開催。



# 京都の観光地周辺の景観に関するアンケート

今月4日に京都の観光地周辺にて景観に関するアンケートをインターン生の高森と進藤で行いました。その結果と考察をご紹介します！

① 京都の観光地周辺における景観で良いと感じるところ

- ・電線、電柱が無くすっきりしている。
- ・落ち着いた色合いの建物で古風な街並みが見られる。
- ・時間帯によってその都度変化する風情のある風景を見られるところ。
- ・観光地周辺から山や川が見られるところ。
- ・歩道も石畳に舗装されていて十分な幅があり、すっきりとしている。
- ・街灯に風情を感じられる。



② 京都の観光地周辺における景観で悪いと感じるところ。

- ・放置自転車、路上駐車及び交通渋滞が原因でせっかくの落ち着いた雰囲気の間接的な影響が台無しになる。
  - ・広告、看板などの人工物が古い建物が隣接する箇所では特に目立つ。
  - ・道幅が狭い箇所が多く、圧迫感がある。
  - ・建物など、街並みの色が統一されていないとごちゃごちゃした雰囲気になる。
  - ・街中には緑が少ない。
  - ・路地裏に外れるとどこにでも見られる雑多な雰囲気になる。
  - ・一部では規制されているようだが、建物の高さがばらばらである。
  - ・観光地で綺麗な場所でも賑やか過ぎると景観の印象を悪くしてしまう。
- ③ 景観を保全する為にはどのような対策が必要で、どうすれば改善できるのか？
- ・歴史的な景観と現代的な景観の地域を区別して整備するべきだ。
  - ・時代の変化で様々な建物や広告、看板が出てくるのは仕方がないが、昔からの情緒深い建物がある場所に新たに建物を増設しないようにすべきだ。
  - ・狭い道路も含めて電線・電柱がなくなればすっきりとした良い景観になるのではないか？
  - ・京都でも海外の様にパークアンドライド方式を制定して、交通渋滞の緩和を計るのはいかがでしょうか？
  - ・駐輪場を整備して放置自転車を無くすべきだ。

<中略>

今回のアンケートでも電線、電柱をなくすことが出来れば、景観改善に繋がると答えて下さった方々も居たが、人々の景観に対する意識を高める為には、電線や電柱を地下に埋めるだけでなく、その後道路に植林したり、街路樹を植えたりするなどの自然を取り入れる工夫も同時に必要であることが分かりました。

# 電線の布設



一般家庭などで使用される電気は発電所でつくられたあと、送電線→変電所→配電線→引込線を通して我々の生活の場にまで届きます。我々が街中でみる、いわゆる、電柱や地中化の部分は上記電力系統のうち、配電線の部分にあたります。次に、一般的な電柱間配電線や地中化配電線に流れている配電方式は大部分には交流の三相3線式が用いられています。さらに、公称線間電圧（交流の場合の電線・ケーブル間の電圧の総称）は配電用変電所で電圧の変換が行われた高圧配電線路（1次配電線）の6600Vか、柱上変圧器により電圧の変換が行われた低圧配電線路（2次配電線）の200～100Vになります。最後に、高圧配電線路を布設する際には第一種電気工事士の資格が必須となりますが、低圧配電線路を布設する場合は第二種電気工事士の資格でも可能です。

実際に電線・ケーブルを布設する際には、布設される場所や条件などによって、電線・ケーブルの選定および配線設計を適切に行う必要があります。万が一、不適切な選定や配線設計が行われた場合、漏電や断線などを引き起こし、停電や感電、火災などの重大な事故の原因になる可能性があります。それだけ、布設の際の条件が重要となってきます。ここで、電柱間や埋設の布設の電線・ケーブルの選定および配線設計に関わる主な条件を下記にピックアップします。

- ①送電容量(送らなければならない電気の量)
- ②公称線間電圧の最高電圧(交流の場合の電線・ケーブル間の電圧の最高値)
- ③相数・線心数
- ④布設時の最低温度
- ⑤布設場所
- ⑥日射の有無
- ⑦多条布設の場合 ケーブルの配置と間隔
- ⑧管路布設の場合 内径と材質
- ⑨架空布設の場合 風速、径間弛度
- ⑩乾燥地か湿潤地か
- ⑪張力

文責:(株)イズマサ 伊津元博

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら [info@nponpc.net](mailto:info@nponpc.net) までお送り下さい！皆様のご意見、お待ちしております！ tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！ぜひこちらもご登録下さい！→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>



ホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。<http://nponpc.net/>  
フェイスブックはこちら：<http://www.facebook.com/NPONPC>